

授業科目

スポーツ障害理学療法学

担当教員名 菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉	対象学年	3・4	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

授業の概要

スポーツ障害理学療法学の意味、スポーツ整形外科疾患に対する理学療法の評価・検査・治療のプロセスを解説する。1回目の授業では、スポーツ整形外科疾患に対する問診のとり方を演習を通して理解する。2回目からは実際のスポーツ整形外科疾患に対するリハビリテーションに必要な知識、技術を実践的な演習を通して実践する。また、実際の症例についてディベートを通して理解を深める。

授業の目的

臨床実習および臨床活動で経験し得るスポーツ整形外科疾患に対して、科学的根拠に基づいた効果的な理学療法を提供するための知識と技術を修得する。

学習目標

1. スポーツ障害理学療法学の意味と役割を説明することができる。
2. スポーツ整形外科疾患に対する理学療法学的评价・検査・治療のプロセスを説明することができる。
3. スポーツ整形外科疾患に対する問診を正しく実施することができる。
4. 膝前十字靭帯損傷の術後リハビリテーションのリスクについて述べることができる。
5. 膝前十字靭帯損傷の術後リハビリテーションおよび予防トレーニングを正しく実施することができる。
6. 足関節捻挫に対する応急処置とリハビリテーションを正しく実施することができる。
7. 基本的な投球動作を指導することができる。
8. スポーツ整形外科疾患に対するリハビリテーションに必要な基本動作を指導することができる。
9. 積極的にディベートに参加することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	スポーツ障害理学療法学総論、スポーツ整形外科疾患に対する問診	講義・演習	菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉 他
2	膝前十字靭帯損傷のリハビリテーション（術後早期）	講義・演習	菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉
3	膝前十字靭帯損傷のリハビリテーション（術後後期）	講義・演習	菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉
4	膝前十字靭帯損傷の予防	講義・演習	菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉
5	基本的な投球動作と指導方法	講義・演習	菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉
6	足関節捻挫のリハビリテーション	講義・演習	菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉
7	スポーツに必要な基本動作と指導方法	講義・演習	菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉
8	症例検討（ディベート）	講義・演習	菊元 孝則、中村 絵美、伊藤 渉

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	ACL再建術前後のリハビリテーションの科学的基礎	福林徹 他	ナッブ	2011年	3,600円＋税	
	ACL損傷予防プログラムの科学的基礎	福林徹 他	ナッブ	2008年	3,000円＋税	
	足関節捻挫予防プログラムの科学的基礎	福林徹 他	ナッブ	2010年	2,500円＋税	
	アスレティックケアーリハビリテーションとコンディショニング	小山貴之 他	ナッブ	2016年	3,200円＋税	
その他の資料	配布資料					

評価方法

講義における態度、演習における貢献度、授業中の確認テストから総合的に評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

<オフィスアワー>

授業開始時のオリエンテーション時にアナウンスします。

<メールアドレス>

菊元 : kikumoto@nuhw.ac.jp

中村 : emi-nakamura@nuhw.ac.jp

伊藤 : wataru-ito@nuhw.ac.jp